

071103 白鳥山(1639m)～時雨岳(1546m)

6.9 km 4時間49分 (休憩時間は含まない) ※この地図はカシミール3Dにより作成したものです



- 御池登山口
↓ 0:35
- 水場
↓ 0:12
- 平清経住居跡
↓ 0:15
- ウゲトノ谷分岐
↓ 0:10
- ウケノクチ谷
↓ 0:10
- ウゲトノ谷分岐
↓ 0:05
- 御池二の池
↓ 0:12
- ウゲトノ谷分岐
↓ 0:13
- 自鳥山 (1639m)
↓ 0:05
- 露岩
↓ 1:42
- 時雨岳 (1546m)
↓ 0:50
- 時雨岳登山口
↓ 0:20
- 御池登山口

白鳥山～時雨岳 2007. 11. 03



御池登山口

土砂が車道まで流出しやや荒れている。水場の水は出ない。
駐車場の東屋は潰れた状態で放置されていた。



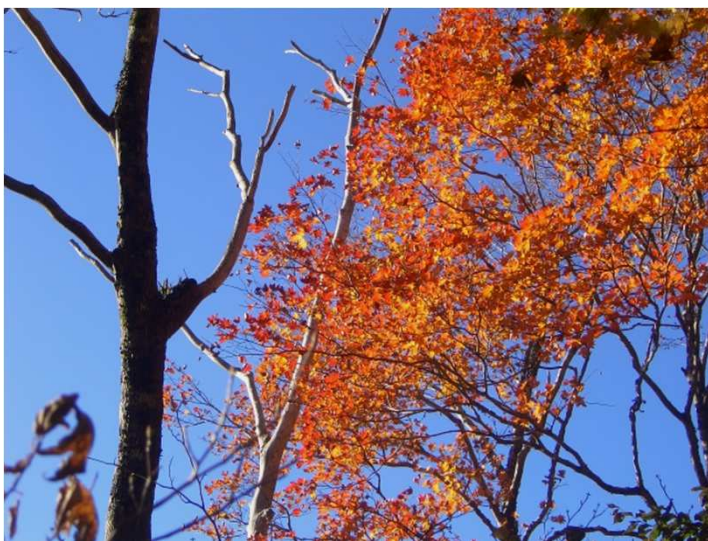
振り返ると扇山につながる山々が稜線が見えてきた。



カレ谷に沿って登ると、白鳥山の稜線が見えてきた。



石をくり抜いた水桶があったが水はポタリポタリ程度。



見事な紅葉が青空に映える。



落ち葉に埋もれた広い尾根の稜線。左「峰越峠」の案内。
白鳥山へは、中央部の踏み跡を辿ると5分である。



平清経住居跡

平家の残党 左中將平清経が落ちて住んだとされる住居跡。
付近は、なだらかな広い斜面で人が隠れ住むことゝの条件は揃っている。



御池「二ノ池」に向かう途中のアーチ状をした倒木。



左「ウゲトノ谷」右「ウケノクチ谷」分岐。
左「ウゲトノ谷」・・・「二ノ池」を経て次の分岐を右に進み尾根を登ると、白鳥山。
右「ウケノクチ谷」・・・涸沢に沿って下ると熊本側登山口へ通じる。また「峰越峠」へも通じる。



ウケノクチ谷を涸沢に沿って15分ほど下った。



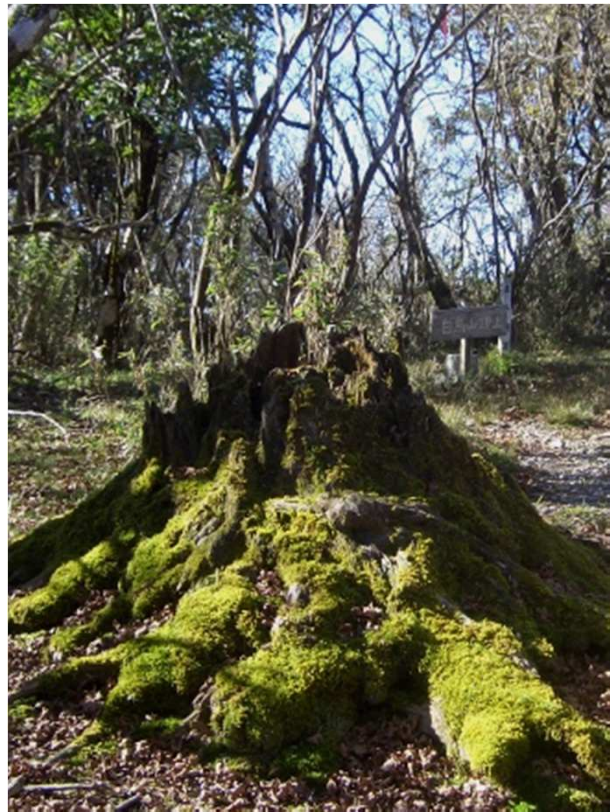
御池二の池

湿地帯で鹿の足跡が多数あった。





白鳥山直前で見つけたねじれた「ヒメシヤラ」の木。

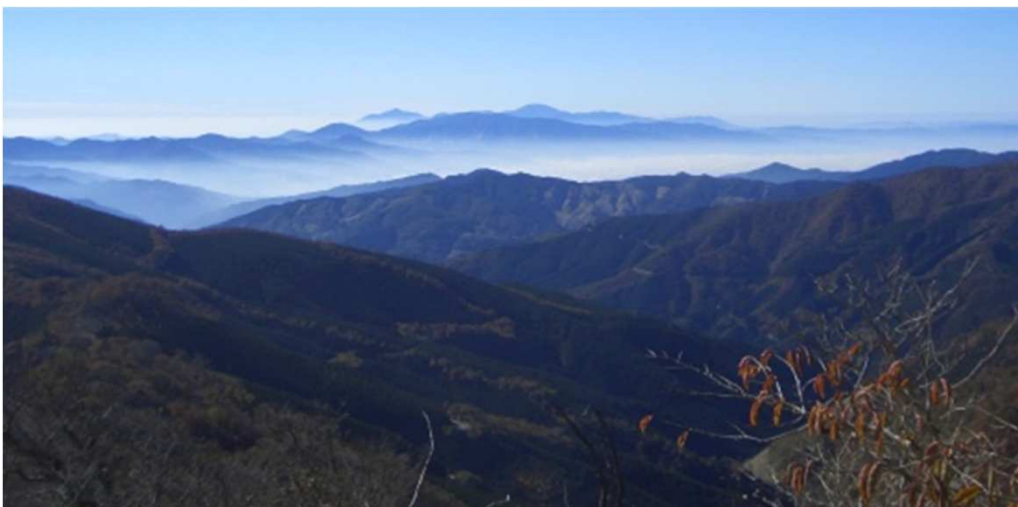


白鳥山の三角点の手前にある見事な苔に覆われた株。



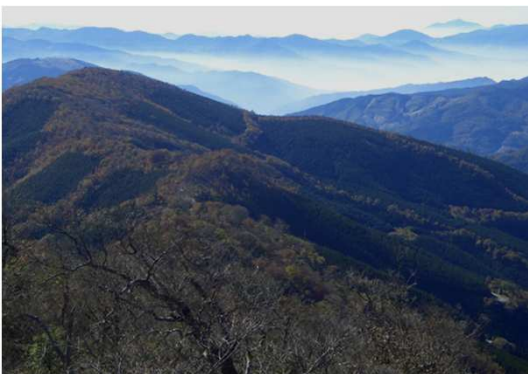
白鳥山(1639m)

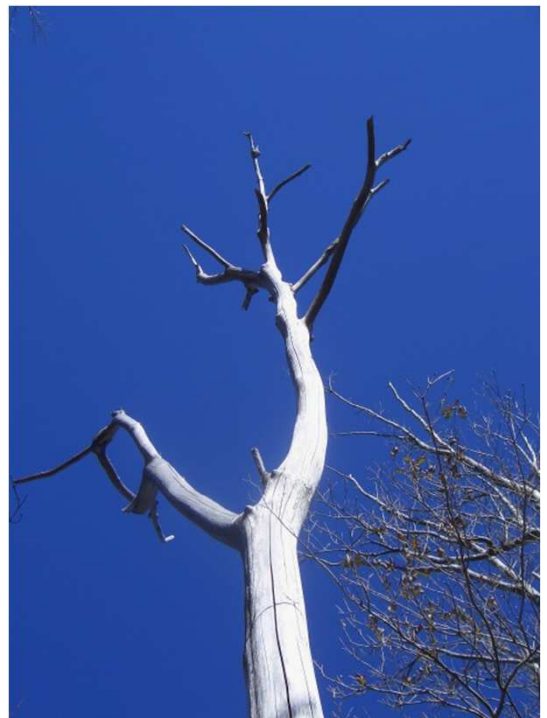
展望は得られない。南へ数分の所に露岩あり。南方面の展望に優れる。



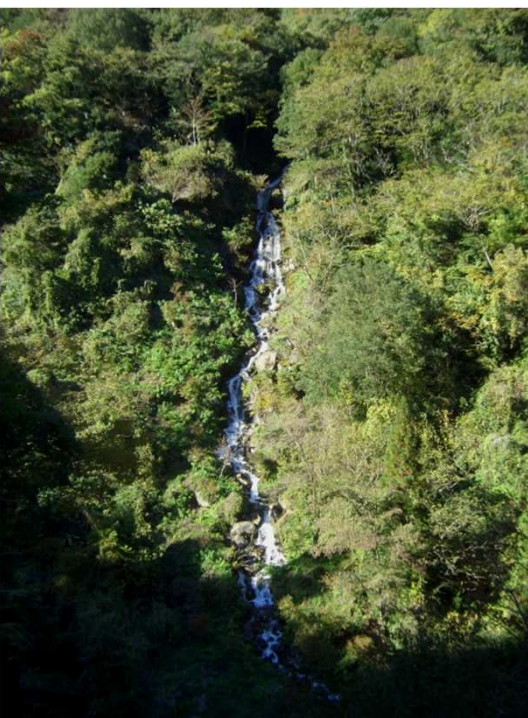
露岩からの展望

白髪岳の向こうに霧島連山が墨絵のように臨まれる。左には、江代山・市房山・石堂山などが見渡せる。









白水の滝由来

寿永四年（一一八五年）、壇ノ浦の戦いに敗れた平家の残党が、一時大分県玖珠郡に逃れ、しばらく移住したが山が浅く安住の地と定めることが出来ず鞍岡（五ヶ瀬町）を経て本屋敷にしばらく移住した。

しかし心が安まらず更に山奥深く分け入ろうとして白岩山に登り尾根伝いに南下し、この白水の滝の上流を通過して、御池辺りに本陣を構えました。その時この滝の上流が昼の休憩場所であり、この水で米をとき昼食を取ったそうです。

そのとき汗が、この滝に流れてきて真っ白に見えたことから「白水の滝」と呼ばれるようになりました。

椎葉村観光協会